

# 成果報告書

## 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	株式会社オフィス ワン・ツー		
所在地	東京都杉並区	設立年	1989年
運営主体	株式会社オフィス ワン・ツー		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門分野の講師を学校等に派遣することで、学校や教員の負担を軽減する。</li> <li>・中学生・高校生に講師の指導を受ける機会を提供し、地域の新たな受け皿となる。</li> <li>・現役プロ講師・俳優による、質の高い指導を実践的、継続的に行う。</li> </ul>		
きっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動顧問の時間的・精神的な負担を軽減したい、又、演劇部がない、又は人数が少ないために活動が制限される中高生に機会を与えたいという思いから。</li> <li>・現役のプロの演出家を派遣し、現在実際に行われている練習法や理論を体験してもらう機会を提供したいと考えたため。</li> </ul>		
団体・組織等の連携	<p>The diagram illustrates the organizational relationships. At the center is '株式会社 オフィスワン・ツー'. An arrow labeled '助成金' (Subsidy) points from the company to '地域の施設' (Local facilities). An arrow labeled '指導者' (Instructor) points from the company to '学校' (Schools). An arrow labeled '講師' (Teacher) points from the company to '講師' (Teachers). An arrow labeled '参加・見学' (Participation/Observation) points from '地域の中高生' (Local middle and high school students) to '地域の施設' (Local facilities). An arrow labeled '謝金' (Stipend) points from the company to '講師' (Teachers). An arrow labeled '利用料' (Usage fee) points from '地域の施設' (Local facilities) to the company.</p>		
活動場所	シュタイナー学園、井草高校、小山台高校Studio Dance Visions		
活動概要	<p>A. 学校に講師を派遣する活動: 学校に講師を派遣し、部活動、学校における中高生に対する演技・演劇指導(1回2~4時間、3校で全19回)</p> <p>B. 地域の中高生に演劇レッスンの場を設ける活動: 中高生が無料で通える演劇教室の開催し、演技・演劇指導(月3回程度、土曜日4時間、全27回)</p>		

### ○本事業による成果

- ・演劇部が盛んでない、又は、演劇部のない学校の生徒の受け皿になることができた。(昨年度7名、今年度13名)
- ・基礎練習による参加者の演技力の向上と自信の獲得、脚本・演出面の実践的な指導による作品の質の向上。
- ・参加者の所属する演劇部が都大会に出場、地区大会で奨励賞、部員の増加(6名→10名)。
- ・参加者アンケートより「モチベーションや技術の維持・向上ができた」「部活で使えるエチュードを学べてよかった」「色々な台本を経験できたのも良かった」「ちゃんと発声できるようになった」「演技経験がゼロの私でも楽しかった」

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・中高生への指導経験もあるプロの演出家を講師として複数名配置し、様々な練習法や視点を紹介した。
- ・演劇鑑賞・DVD鑑賞で現代劇に触れる機会を提供し、多様な考え方・生き方・人物像を提示した。
- ・講師アシスタントは専門学校や大学で学んだ若手俳優を起用し、参加者に次のステップを考える環境を提供した。
- ・講師間で毎回実施報告書を共有し、参加者の状況を把握しながら進行した。

## ○運営上の工夫

- ・講師を複数名確保することによって、各学校の希望に合わせて派遣することができた。
- ・Bについては、当団体の事務所のすぐ近くに活動場所を確保し、台本の印刷、椅子等の道具の運搬を容易にした。
- ・教員の見学を可とし、指導法を学ぶ機会を提供した。保護者の見学を可とし、安心感を与える環境を作った。
- ・検討運営会議で有識者の視点から意見を聞くことで、講師が企画の重要性をより深く認識することができた。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

- ・今年度は、東京都高校演劇連盟と杉並区教育委員会、また、前年度の見学者・参加者の協力で事業への参加人数が大幅に増加した。継続することが周知と参加者の増加を促し、より良い企画への改善点の発見に繋がると考える。

今年度の参加者と指導者は継続を希望しているが、次年度は演劇分野での募集はないとのことで、資金面、また、文化庁の主催であるという学校・保護者からの安心感・信頼がなくなるという点で、継続は困難と考えている。

- ・「部活動の代わりとなるもの」という点で、「中高生なら誰でも無料で参加できる」という形態で行うことに意義を感じ、参加費は徴収せず運営してきた。今後の継続には、自治体等の補助金制度や民間の基金等の活用が必須となる。

また、費用を抑えるためには、活動場所を公共の施設にすることも考えられるが、土曜日・日曜日の利用率が高く、確保が困難と言う現状である。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

- ・参加者・指導者・学校関係者の満足度は高く、「プロの演出家を講師として派遣する」「中高生が無料で参加できる演劇教室」のニーズはある程度あると実感した。今後、小規模の活動でも数を増やすことで地域差をなくすような企画にも焦点を当て、音楽の分野に限定しない芸術活動全般に対する幅広い補助金・助成金の設置を検討していただけたらと思う。

- ・杉並区教育委員会の協力により昨年度に比べて今年度は中学生の参加者が増加し、周知には信頼できる発信元が重要であると感じた。特に、中高生の部活動の受け皿になる活動には、自治体や学校の協力が重要と考える。

- ・検討・運営会議では、有識者から「芸術活動は人格形成にかかわるものであり、特に演劇的手法は、中高生に自己の多様性に気づく機会を提供できる」というコメントがありました。しかし、演劇の手法の有用性や演劇自体が浸透していないという現状がある。今後、高校生の演劇鑑賞、その他芸術作品に触れる機会を増やすような事業も検討していただけたらと思う。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	A. 学校に講師を派遣する活動:中学生8名、高校生5名 B. 地域の中高校生に演劇レッスンの場を設ける活動:中学生34名、高校生70名
	学校名	A. シュタイナー学園、井草高校、小山台高校 B. 立川国際高校中等教育学校、高井戸中学校、東京都立総合芸術高校ほか
	募集方法	東京都高校演劇連盟から加盟校の先生にメールで案内を送付、無料のホームページを作成、当団体・関連団体の公演にチラシ折り込み、当団体のホームページ・メールマガジンに記載、杉並区の教育委員会から杉並区内のすべての中学校に案内を送付
指導者	人数等	実演家4名
	募集方法	前年度事業の講師を継続して採用
参加者の移動手段		公共交通機関
活動費用	指導者謝金等	講師謝金 4,600円/時間、講師アシスタント謝金 3,000円/時間 交通費(東京都外のみ) 約2,000円/回(実費)
	その他	会場借上料 6,300円/回、課外レッスン費(観劇費) 3,000円/回 コーディネーター・アシスタントコーディネーター 1,050円/時間
活動財源	会費	無し
	その他	無し(すべて助成金にて賄う)
スケジュール	基本活動	A. 各学校の予定に合わせて調整 B. 令和4年5月～令和5年2月、月2～4回、13:30～17:30 基本的に土曜日(日曜日と祝日に1回ずつ有)
	年間	A. 5月2回、6月2回、7月1回、8月5回、9月2回、10月1回、12月1回、1月2回、2月3回 B. 5月2回、6月2回、7月1回、9月3回、10月4回、11月3回、12月2回、1月6回(冬休み特別レッスン3回含む)、2月4回
保険加入等		無し

